

公明党 横浜市会ニュース 第61号

民衆の声  
ボイス

# VOICEよこはま

公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL.671-3023 FAX.681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com



港湾施設の老朽化を視察  
(H24年8月)

■港湾施設の耐震化工事も災害時の港湾機能と、地域経済を維持する上で重要として盛り込まれました。



路面下の空洞調査を行う車両を視察  
(H24年6月)

■公明党が要望してきた市内の緊急輸送路の路面下空洞調査は、全長380kmを順次調査することになります。



医薬品会社の免震倉庫を視察  
(H24年8月)

■災害時を安心の医薬品安定供給を行うための対策等、ソフト面を充実させることとなります。



小学校校舎に設置された耐震フレーム  
(H23年11月撮影)

■耐震診断の結果、補強が必要とされた市立小中学校の耐震補強工事を本年29校、34棟で実施します。



平成25年第1回定例会が始まる  
—皆様の期待にお応えします！—

平成25年度予算案

## 防災・減災対策が大きく前進！

公明党横浜市議員団は、これまで防災・減災対策を推進してきました。平成25年度の横浜市予算案には、その主張が大きく反映され、国の24年度補正予算案と合わせ、道路整備や学校耐震化工事を予定より前倒しして実施するとしています。また、橋りょうや港湾等の施設の老朽化対策も大きく前進する見込みです。

## 平成24年 第4回定例会の論戦から

### 障がい者や高齢者の生活実態に配慮した施策推進を

福祉特別乗車券の有料化についての検討では、障がい者の生活実態を捉え、また、障がい者の外出を阻害することのないよう推進すべきと質問しました。

市長は、昨今の経済の低迷の影響も受け、生活が厳しい方が多く、そこから暮らしへの不安感が生じていると認識しており、負担金の水準をできるだけ低く設定した上で、広く一律にご負担をお願いしたいと答弁しました。

また、横浜市福祉のまちづくり条例の全部改正について、今後、更なるバリアフリーの推進をどの様に行うのか質問しました。

市長は、改正を契機に、全ての人がお互いを尊重し、助け合う、人の優しさにあふれたまちづくりを進めるとの理念を浸透させる、誰もが横浜の良さを実感でき、その良さを次世代につなげていくことができる福祉のまちづくりを進めていきたいと答弁しました。

更に、木造住宅・マンション耐震事業については、様々な理由で耐震改修に踏み切れない市民の生命を守るために、耐震改修工事以外の方策を合わせて推進する必要性についての考えを質問しました。

市長は、高齢化の実態を踏まえ、建物の耐震改修以外の方策も必要とし、寝ているときの命を守る耐震ベッドや建物の一部屋を補強する耐震シェルターの設置、家具の転倒防止対策の周知など、大地震から命を守る方策も合わせて推進することが必要だと答弁しました。



こども青少年・教育委員会副委員長  
孤立を防ぐ地域づくり特別委員会  
泉区選出  
**げん なみ 正保**  
●ご意見・ご相談はお気軽に  
TEL 671-3023  
(ホームページ)  
http://gennami.net/

市長は、居住者ニーズの高い、エレベーター設置や耐震対策、計画修繕などを着実に進め、建物の長寿命化対策を推進していくとともに、今後の市営住宅の再整備については、人口動態や財政状況等をしつかり見極めながら民間活力を導入するなど、多様な手法も検討し、必要な再整備を進めていくと答弁しました。

### 高齢者の外出支援の充実と市営住宅の環境整備を

将来、急増する高齢者に対する地域交通のモデルを構築するため、今後、福祉分野と地域交通分野が一体的に取り組んでいくことが必要だと提案しました。

これに対し市長は、今後の地域交通のあり方を議論するため、地域交通のさまざまな担い手と、福祉や交通の関係者により部会を設立し、その議論を踏まえ、現在見直しを進めている「横浜都市交通計画」に反映していくと答弁しました。

また、市営住宅をはじめとした大規模な住宅団地では、居住者の高齢化や建物の老朽化が進んでおり、エレベーターの早期設置や、老朽化した建物の改善を望む声も多く寄せられているため、今後の再整備の考え方について質問しました。



市長は、居住者ニーズの高い、エレベーター設置や耐震対策、計画修繕などを着実に進め、建物の長寿命化対策を推進していくとともに、今後の市営住宅の再整備については、人口動態や財政状況等をしつかり見極めながら民間活力を導入するなど、多様な手法も検討し、必要な再整備を進めていくと答弁しました。

横浜市コールセンター Tel.045-664-2525  
~便利な暮らしの情報ガイド~ Fax.045-664-2828  
●時間/8:00~21:00 (土・日・祝日を含む毎日) ●Eメール/callcenter@city.yokohama.jp